

令和7年度山形市農業振興協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

山形市は奥羽山脈の西側に位置し、中心市街地を囲むようにドーナッツ状に農地が広がり、消費者との距離が近い都市型農業を展開している。主食用米からの転換は、直売所を活用した野菜・花き・果樹等の高収益作物への転換と、転作組合による土地利用型作物への転作を推進している。

しかし、農業従事者の高齢化が進んでいることから、高収益作物へまとまって転換することが難しいため、主食用米偏重から脱却するためにも、飼料用米・米粉用米・輸出米・加工用米・団地化し共同で耕作できる土地利用型作物(小麦・大豆・そば)へ支援することにより水田の収益力強化を図る。

特に、市内には大小35ヶ所以上の直売所があり、今後も新たな直売所の開設が予定されるなど、山形市民に定着している。その売上高もゆうに18億円を超えており、栽培農家が野菜・花卉などを直接出荷する事で、所得向上に寄与している。地産地消を推進するためにも「直売所」は重要であり、直売所では様々な作物が求められることから、高収益な野菜・花卉は、需要のある様々な作物に対し支援することで、転換作物の本作化を支援する。

また、有害鳥獣の被害が年々増加し対策が急務となっている。特に、昭和50年代半ばに集団転作で団地化して果樹等を新植した園地が、作り手の高齢化と園地の老木化により不耕作となった所が有害鳥獣の棲家と化し、新たな被害を生んでいるため対策が求められている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農業従事者の高齢化により、大規模な転作を推進することが難しいことから、小規模多品種生産を奨励し、小量でも出荷できる直売所を活用して求められる様々な作物を生産出荷することにより農家の収益力強化を図る。

山形市農業戦略本部で選定された戦略作物の振興に向けて、関係機関で連携を図りながら取組を進めていく。果樹や野菜・花きなどの高収益作物の生産拡大に向けて、作物ごとの課題を整理し、どのような支援があれば拡大が可能なのか関係機関で検討会議を組織する。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

後継者不足を解消するため、様々な営農形態を模索し収支モデルを示したうえで、営農指導体制を強化し新規就農者を育成していく。

令和9年度以降の国の水田政策の見直しの検討内容に注視し、情報収集に努め、見直しに円滑に対応できるよう準備を進めるとともに、計画的な水稻作付けや畑地化促進事業の活用を検討し、より高収益な畑作物の本作化や産地化に取り組むことで水田の有効利用を図る。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

山形県の推奨するブランド米である「つや姫・雪若丸・はえぬき」を推進し、作期の分散を図り、低コスト生産技術の導入を促進し需要に応じた米生産を推進する。

(2) 備蓄米

農家の高齢化が進んでいることから、主食用米偏重から脱却するため、需要に応じた米生産を図るため、転作作物の柱として推進する。

※備蓄米については、令和7年産米の備蓄米に関する政府買入の動向を踏まえ、主食用米及び非主食用米等へ変更する場合がある。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

農家の高齢化が進んでいることから、主食用米偏重から脱却するため、支援を行うことにより需要に応じた米生産を図るため、転作作物の柱として推進する。

イ 米粉用米

全国的な需給が拡大傾向にある米粉用米は、重要な転換品種になることから、作付面積拡大を積極的に推進する。

ウ 新市場開拓用米

需要増が見込まれることから、さらなる増加を図ることを目指して支援を行う。

エ WCS用稲

畜産農家の需要喚起を図りながら、米の作期の分散のためにも支援し拡大を目指す。

オ 加工用米

コメ新市場開拓等促進事業に取組み、加工用米へ支援し、拡大を目指す。

(4) 麦、大豆、飼料作物、

飼料作物は、肥育頭数が伸びていないため拡大はなかなか難しいが、牧草が高止まりしている中で、畜産経営の改善を進めるためにも拡大を目指して推進する。

麦・大豆の土地利用型作物は、農業従事者の高齢化が進んでいることから、主食用米偏重から脱却するため、地域の集落営農組織を支援しながら、収量の増加を図るとともに団地化を推進し本作化を進める。

(5) そば、なたね

そばは、農業従事者の高齢化が進んでいることから、主食用米偏重から脱却するため、地域の集落営農組織を支援しながら、収量の増加を図り本作化を進める。

(6) 地力増進作物

山形市の農家で、他作物の作付のため緑肥を生産し土づくりを行う農家はあり得ないため地力増進作物に対して個票の設定は行わない。

(7) 高収益作物

山形市24万市民の台所として地産地消を進める。

畑地化促進事業の活用を選択する農業者が増加することが予想されることから、対象となる栽培面積の減少が見込まれるが、需要のある作物の生産を推進するため、露地、ハウスに関わらず、引き続き、様々な作物への支援を行う。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2282.51		2339.00		2293.00	
備蓄米	198.14		188.00		193.00	
飼料用米	23.32		14.00		16.00	
米粉用米	0.40		0.40		0.59	
新市場開拓用米	14.50		12.00		18.00	
WCS用稲	0.00		0.00		0.00	
加工用米	3.78		2.50		2.50	
麦	50.22		54.00	13.00	54.00	15.00
大豆	149.58	9.39	217.00	13.00	220.00	15.00
飼料作物	0.66		0.70		5.00	
・子実用とうもろこし	0.00		0.00		0.00	
そば	255.18		210.00		210.00	
なたね	0.00		0.00		0.00	
地力増進作物	0.00		0.00		0.00	
高収益作物	100.05		99.31		93.29	
野菜	70.83		70.23		69.67	
・食用菊	4.10		4.29		3.72	
・なす	4.60		4.51		4.69	
・きゅうり	13.23		11.90		14.56	
・トマト	10.66		11.34		9.30	
・アスパラガス	1.06		1.08		1.10	
・セルリー	4.10		4.08		4.12	
・うるい	0.00		0.01		0.09	
・さといも	6.32		6.31		6.33	
・えだまめ	9.54		8.92		10.16	
・かぼちゃ	2.29		1.62		2.63	
・いちご	0.76		0.82		0.65	
・はくさい	0.46		0.60		0.18	
・ほうれんそう	1.56		1.61		1.47	
・ねぎ	4.59		5.31		3.16	
・ブロッコリー	0.59		0.59		0.84	
・パセリ	0.00		0.01		0.09	
・にら	0.22		0.27		0.13	
・うど	0.03		0.03		0.03	
・たらのめ	0.23		0.24		0.20	
・おかひじき	0.07		0.05		0.09	
・たまねぎ	0.48		0.53		0.38	
・パッションフルーツ	0.00		0.01		0.03	
・にんじん	0.16		0.10		0.22	
・キャベツ	1.42		1.49		1.28	

・こまつな	0.39	0.39	0.39
・わらび	0.26	0.28	0.23
・レタス	0.57	0.56	0.58
・だいこん	0.06	0.03	0.12
・じゃがいも	0.19	0.21	0.16
・せり	0.25	0.27	0.22
・ささげ	0.05	0.03	0.11
・アピオス	0.00	0.01	0.01
・みずな	0.00	0.01	0.01
・とうもろこし	0.28	0.16	0.40
・メロン	0.09	0.13	0.01
・ピーマン	0.11	0.06	0.16
・オクラ	0.44	0.66	0.00
・せいさい	0.55	0.40	0.70
・ズッキーニ	0.00	0.01	0.01
・カリフラワー	0.17	0.08	0.36
・ワサビ菜	0.07	0.08	0.06
・きくいも	0.28	0.42	0.01
・五月菜	0.03	0.04	0.01
・マコモダケ	0.57	0.67	0.65
・かぶ	0.00	0.01	0.02
花き・花木	25.48	25.25	19.63
・啓翁桜	2.44	1.76	3.12
・ばら	2.51	1.24	3.78
・トルコギキョウ	0.89	1.08	1.27
・カーネーション	0.82	0.92	1.02
・シクラメン	1.13	1.30	0.80
・スノーボール	0.39	0.21	0.57
・きく	0.35	0.18	0.52
・ストック	1.00	0.87	1.13
・ゆり	1.25	1.44	0.88
・アルストロメリア	0.32	0.45	0.06
・フリージア	0.22	0.23	0.20
・パンジー	0.00	0.01	0.01
・べにばな	6.73	7.23	0.57
・葉ぼたん	2.51	3.02	1.49
・ひまわり	0.00	0.01	0.01
・ダリア	0.93	1.00	0.79
・ケイトウ	0.90	0.76	1.04
・あじさい	0.96	1.13	0.62
・ワレモコウ	0.58	0.61	0.52
・アイリス	0.18	0.19	0.16
・スモークツリー	0.03	0.02	0.12
・ライラック	0.33	0.43	0.14
・コスモス	0.56	0.59	0.50
・ラナンキュラス	0.36	0.45	0.19

	・ユーカリ	0.09		0.12		0.12	
	果樹	1.10		0.94		1.83	
	・さくらんぼ	0.00		0.01		0.01	
	・西洋なし	0.00		0.01		0.01	
	・もも	0.73		0.40		1.40	
	・銀杏	0.00		0.14		0.01	
	・ぶどう	0.02		0.01		0.09	
	・りんご	0.35		0.37		0.31	
	その他の高収益作物	2.64		2.89		2.16	
	・直売所からの要請のある野菜	0.25		0.37		0.01	
	・落花生	1.04		1.09		0.95	
	・野菜苗	0.54		0.57		0.48	
・花苗	0.81		0.86		0.72		
その他	0.00		0.00		0.00		
畑地化	10.64		10.00		10.00		
		3078.34	9.39	3136.91	26.00	3105.38	30.00

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	別紙	高収益作物作付支援 （露地栽培）	作付面積の拡大	（令和6年度） 60.19ha	（令和8年度） 55ha
2	別紙	高収益作物作付支援 （ハウス栽培）	作付面積の拡大	（令和6年度） 39.85ha	（令和8年度） 38ha
3	麦、大豆、そば（二毛作）	麦、大豆、そば生産 二毛作助成	二毛作の面積、基幹作と二毛作 に取組んだ面積の割合	（令和6年度） 9.39ha、2.06%	（令和8年度） 30ha、6.3%
4	新市場開拓用米	【国枠】新市場開拓用 米 取組拡大助成	新市場開拓用米 取組面積	（令和6年度） 14.50ha	（令和8年度） 18ha
5	そば・なたね	【国枠】そば・なたね生 産助成	作付面積	（令和6年度） 255.18ha	（令和8年度） 210ha
6	飼料用米	飼料用米生産ほ場の わら利用助成（耕畜連 携）	わら利用面積	（令和6年度） 1.92ha	（令和8年度） 2.1ha
7	飼料用米	飼料用米転換助成	複数年契約者、低コス ト生産への取組面積	（令和6年度） 0ha・17.98ha	（令和8年度） 25.00ha、25.00ha
8	新市場開拓用米	【国枠】新市場開拓用 米 複数年契約助成	複数年契約の面積	（令和6年度） 0ha	（令和8年度） 10ha
9	米粉用米（基幹作物）	米粉用米転換助成	作付面積、低コスト生 産への取組面積・数量	（令和6年度） 0.40ha・2.57t	（令和8年度） 0.59ha・3.70t

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 山形県

協議会名: 山形市農業振興協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	高収益作物作付支援(露地栽培)	1	28,000	別紙	対象作物を露地栽培で生産を行い、出荷・販売を行う取組を支援する
1	高収益作物作付支援(べにばな)	1	40,000	べにばな	1農業者あたりの作付面積の合計が30a以上(別紙の中山間地域においては10a以上)作付けしていること。
2	高収益作物作付支援(ハウス栽培)	1	37,000	別紙	対象作物をハウスで生産を行い、出荷・販売を行う取組を支援する
3	麦、大豆、そば生産助成(二毛作)	2	12,000	麦、大豆、そば(二毛作)	対象作物について、小麦・大豆・そばの組み合わせによる二毛作を支援する
4	【国枠】新市場開拓用米取組拡大助成	1	20,000	新市場開拓用米	需要者と比例・販売契約を締結し、新市場開拓用米へ転換する取組を支援する
5	【国枠】そば・なたね生産助成	1	20,000	そば・なたね	対象作物を生産し、出荷・販売を行う取組を支援する
6	飼料用米生産ほ場のわら利用助成(耕畜連携)	3	13,000	飼料用米	わら利用助成(飼料用米生産ほ場の稲わら利用の取組)
7	飼料用米転換助成	1	10,000	飼料用米	飼料用米を作付けし、低コストの生産等の取組を行った場合、取組面積に応じて助成する
8	【国枠】新市場開拓用米複数年契約助成	1	10,000	新市場開拓用米	需要者との令和7年からの複数年契約(3年以上)に基づき、新市場開拓用米を作付けする取組を支援する
9	米粉用米転換助成	1	18,000	米粉用米(基幹作物)	米粉用米を作付けし、低コスト生産等の取組を行った場合に、取組面積に応じて助成する

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙 露地栽培対象作物

野菜	花き	果樹	その他作物
きゅうり	ばら	りんご	落花生
トマト	トルコぎきょう	西洋なし	直売所から要請のある野菜苗
なす	カーネーション	もも	直売所から要請のある花苗
ピーマン	パンジー	ぶどう	
かぼちゃ	啓翁桜	桜桃(さくらんぼ)	
いちご	シクラメン	銀杏	
キャベツ	スノーボール		
はくさい	きく		
ほうれんそう	ストック		
ねぎ	ゆり		
たまねぎ	アルストロメリア		
レタス	フリージア		
だいこん	ライラック		
にんじん	紅花		
さといも	葉ぼたん		
えだまめ	コスモス		
青さやいんげん(ささげ)	ダリア		
未成熟とうもろこし(とうもろこし)	ケイトウ		
ばれいしょ(食用品種)(じゃがいも)	あじさい		
アスパラガス	ワレモコウ		
オクラ	ラナンキュラス		
セルリー	アイリス		
カリフラワー	スモークツリー		
ブロッコリー			
セリ			
ニラ			
食用菊			
かぶ			
うど			
うるい			
わらび			
たらのめ			
おかひじき			
こまつ菜			
せいさい			
アピオス			
菊芋			
水菜			
ズッキーニ			
五月菜			
マコモダケ			

地区		
東	沢	妙見寺・釈迦堂・防原町・上宝沢・下宝沢・滑川・新山・関沢
山	寺	山寺全域
高	瀬	上東山・下東山(二本堂・宝田地区を除く。)・高沢・切畑
滝	山	岩波・横根・八森・土坂・神尾
村	木	上平・足沢・出塩・大谷地
西	山	新田・七ツ松・荻の窪・礪石・大平
大	曾	滝ノ平・芳沢
蔵	王	蔵王山田・蔵王上野・蔵王堀田・蔵王温泉

別紙 ハウス対象作物

野菜	花き	その他
きゅうり	ばら	直売所から要請のある野菜苗
トマト	トルコぎきょう	直売所から要請のある花苗
なす	カーネーション	
ピーマン	パンジー	
かぼちゃ	啓翁桜	
いちご	シクラメン	
メロン	スノーボール	
キャベツ	きく	
ほうれんそう	ストック	
ねぎ	ゆり	
たまねぎ	アルストロメリア	
レタス	フリージア	
だいこん	ライラック	
にんじん	紅花	
さといも	葉ぼたん	
えだまめ	コスモス	
ばれいしょ(食用品種)(じゃがいも)	ダリア	
アスパラガス	ケイトウ	
オクラ	あじさい	
セルリー	ひまわり	
カリフラワー	ラナンキュラス	
ブロッコリー	スモークツリー	
パセリ	ユーカリ	
ニラ		
食用菊		
うるい		
おかひじき		
こまつ菜		
せいさい		
パッションフルーツ		
水菜		
ズッキーニ		
ワサビ菜		
五月菜		